



sangetsu

証券コード 8130

第 **72** 期
中間報告書

2023年4月1日～9月30日

■ Top Message 株主の皆さまへ

「スペースクリエーション企業」への転換、その先にある新たな価値の創造を目指す

株主の皆さまには、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

サンゲツグループ第72期の中間報告書をご高覧いただくにあたりまして、ごあいさつ申し上げます。



経営計画に基づく成長戦略を着実に実行した結果、第2四半期累計期間においては過去最高の業績となりました。こうした状況を踏まえ、2024年3月期の通期連結業績予想を下記の通り修正しました。

私たちは引き続き、中期経営計画に基づく成長戦略を積極的に実行するとともに、これまでにない新たな事業モデルを描いていくことで、さらなる企業価値の向上に取り組んでまいります。

2024年3月期 通期連結業績予想 (％表示は対期初予想増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益
通 期	1,870 億円 (2.2%増)	185 億円 (23.3%増)	189 億円 (22.7%増)	133 億円 (26.7%増)

当社グループでは、最近の業績の動向をふまえ、2023年11月10日付で、期初の業績予想を上記のとおり修正しております。

2. 中長期の成長ビジョンに向けた思い

2020年5月に発表した長期ビジョン【DESIGN 2030】において掲げた「スペースクリエーション企業」としての企業像を、2023年5月に改めて見直し、あわせて経済価値における定量目標を上方修正いたしました。そして、同時に発表した新中期経営計画【BX 2025】では、2023年度から2025年度の3カ年を「次の飛躍に備える3年間」と位置付けています。

具体的には、「人的資本の拡大・高度化・活躍支援」「デジタル資本の蓄積・分析・活用」「ソリューション提供力の強化」

「エクステリア事業と海外事業」「社会価値の向上」を基本施策として、強固な収益力と持続的成長力を持つ「空間軸」に基づいたスペースクリエーション企業への転換を進めます。そして、さらなる長期的な成長に向けた「時間軸」を捉えたスペースオペレーション事業の展開を検討してまいります。

長期ビジョンと中期経営計画における目標

長期ビジョン【DESIGN 2030】における定量目標の見直し

・売上高 …… **2,500**億円 ・営業利益 …… **270**億円

中期経営計画(2023-2025)【BX 2025】

経済価値における最終年度目標

・売上高 …… **1,950**億円 ・ROE …… **14.0**%
・営業利益 …… **205**億円 ・ROIC …… **14.0**%
・当期純利益 …… **145**億円 ・CCC※ …… **65**日

※ CCC：Cash Conversion Cycle

3. 株主さまへの還元について

中期経営計画【BX 2025】では、株主還元の方針として以下を掲げています。

株主還元方針

- 2026年3月末の自己資本を950～1,050億円とする（2023年3月末 自己資本:957億円）
- 株主還元は配当を主体とし、1株当たり年間配当金は130円を下限に、安定的な増配を目指す
- 市場の状況により自己株式の取得も検討する

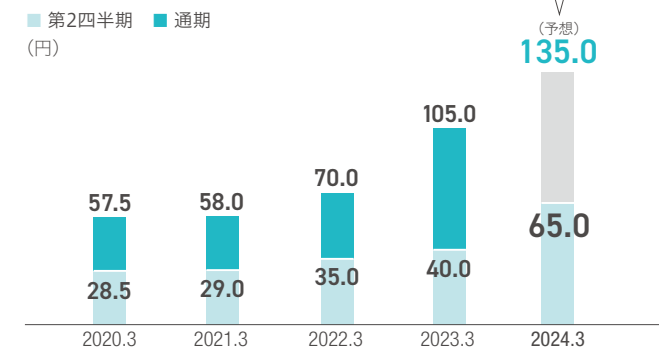
新中期経営計画期間中においては、1株当たり年間配当金の下限を130円に設定し、安定的な増配を目指す方針といたしました。また、自己株式の取得についても株式市場の状況や当社の株価の状況を注視しながら、適宜検討してまいります。この方針と連結業績予想を勘案した結果、中間配当金は65円/株とさせていただきます。また、今回の通期見通しの修正とあわせ、期末配当金の予想を70円/株と変更いたしました。

私たちを取り巻く事業環境は、依然として不透明・不確実な状況が継続するものと見通されますが、私たちは長期的に経済価値を創出するためのビジネスモデルの転換・変革を進めるとともに、企業として社会課題に向きあい、持続的な価値創造の循環を生み出してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、引き続き変わらぬご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

代表取締役 社長執行役員 安田 正介

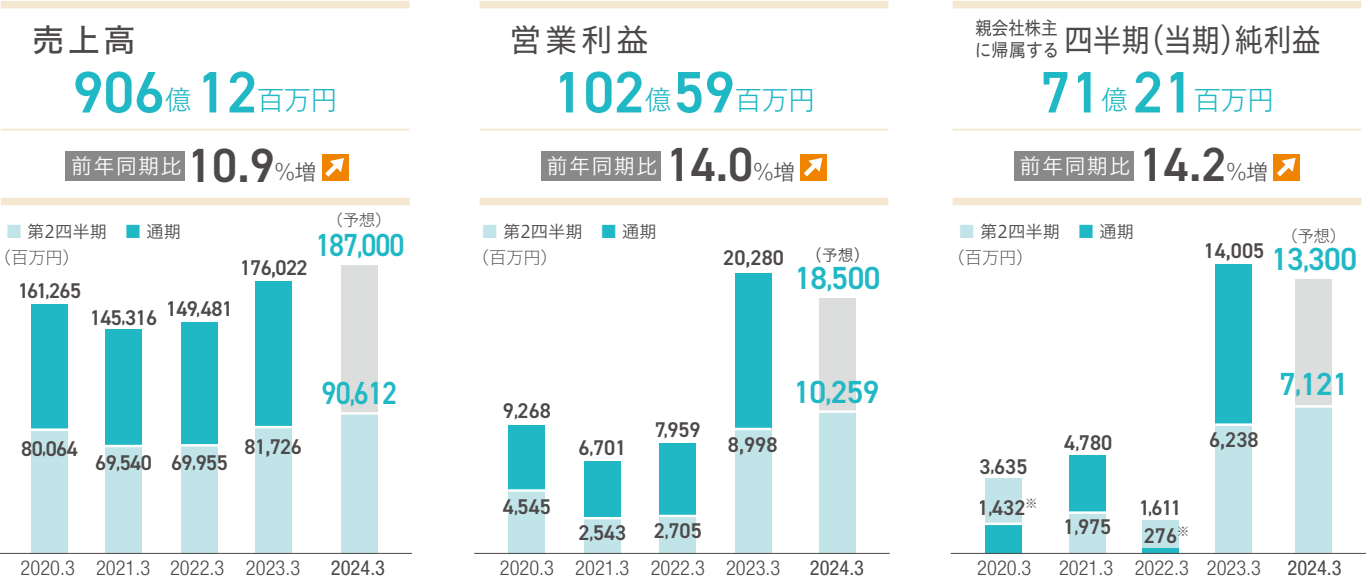
1株当たり 配当金と配当性向



中期経営計画【BX 2025】の詳細については、下記よりご覧いただけます。
https://www.sangetsu.co.jp/company/ir/management/medium_term_plan.html

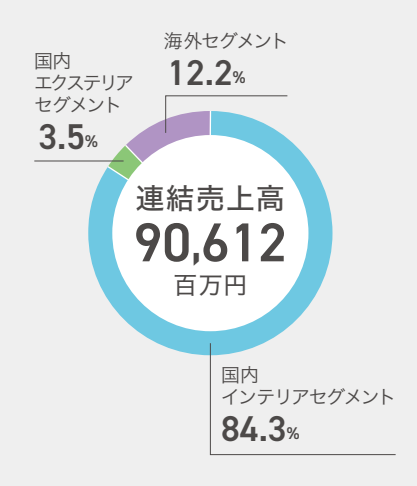


■ 事業概況（2024年3月期 第2四半期連結累計期間）



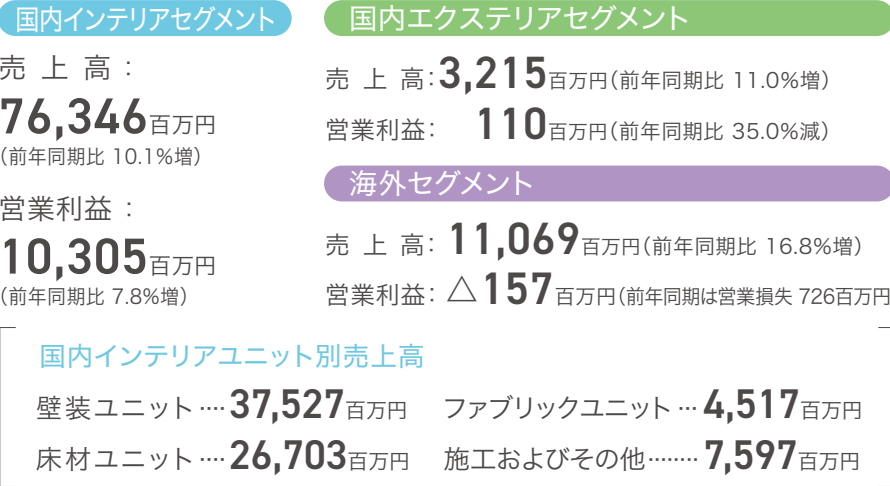
2022年3月期において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2022年3月期第2四半期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。
※2020年3月期及び2022年3月期決算時に実施した米国 Koroseal 社関連ののれん・無形資産の減損及び商標権の減損等により、通期での親会社株主に帰属する当期純利益は第2四半期よりも減少しました。

■ セグメント別売上構成比



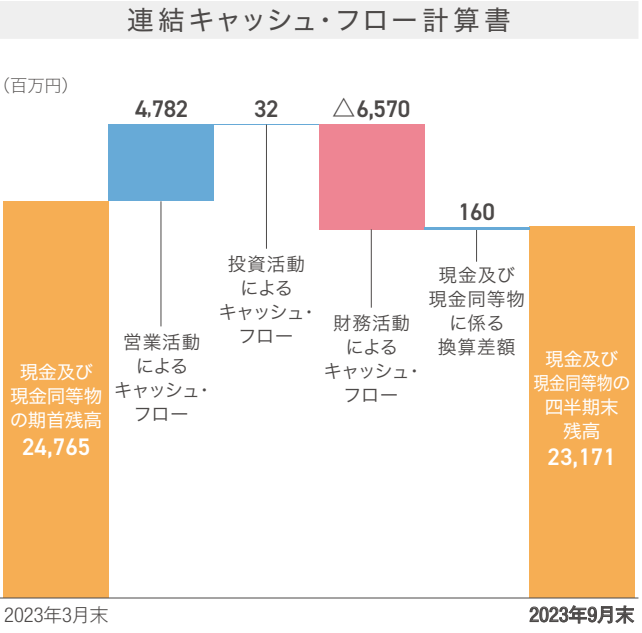
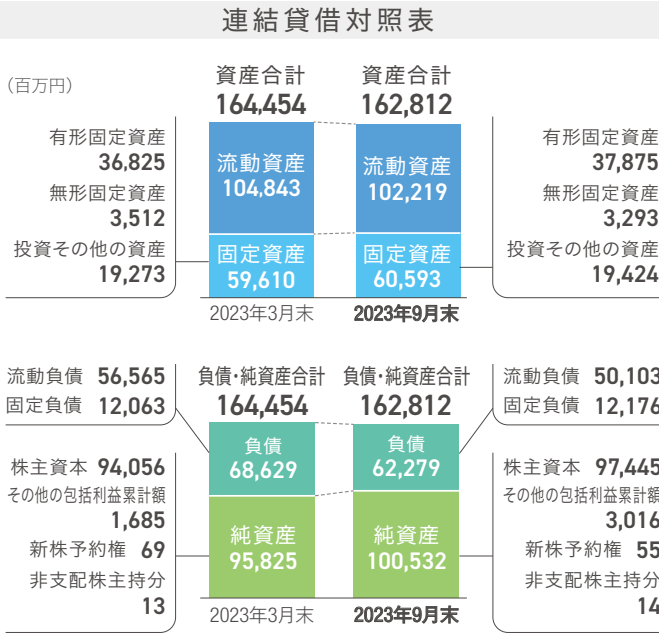
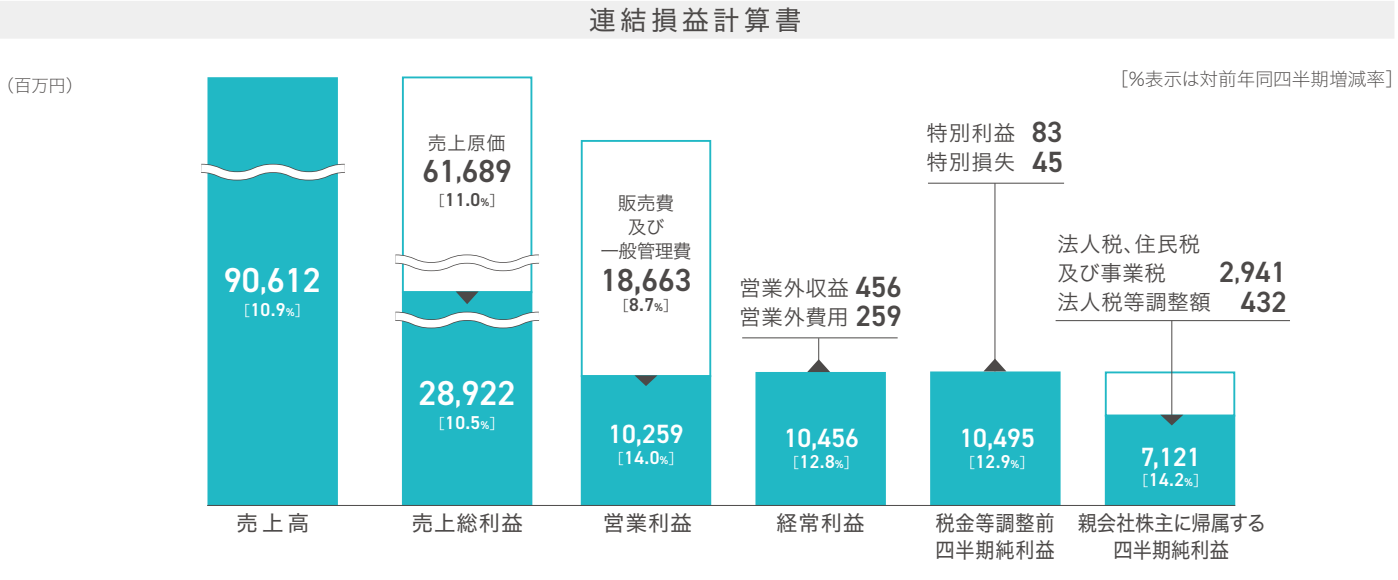
※2024年3月期の期首より報告セグメントを上記のとおり3区分に変更し、前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

■ セグメント別業績



■ 連結財務諸表（要旨）

2024年3月期（第2四半期）



TOPICS

株主さまアンケート結果のご報告

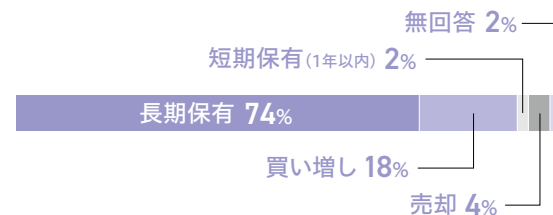
第71期中間報告書で実施したアンケートにつきまして、508名の株主の皆さまからご回答をいただきました。ご協力に心より感謝申し上げます。ここでは、アンケート集計結果の一部をご報告させていただきます。

Q.1 当社株式の取得理由

(上位4回答)

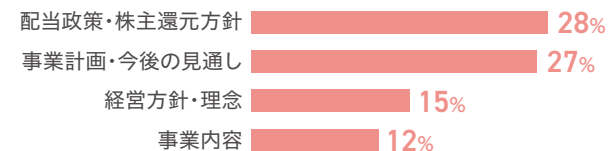


Q.2 今後の保有方針



Q.3 興味のある情報、投資家対応活動に期待すること

(上位4回答)



Q.4 当社へのご意見 (一部)

- ・経営計画に基づいた積極的な戦略を期待しています。
- ・「スペースクリエーション」というネーミングと戦略が未来の成長を期待させる。
- ・今後も継続的かつ安定的な配当を期待します。
- ・株主との対話の場を開催してほしい。

アンケートの詳細は、Webサイトに公開しています。
<https://www.sangetsu.co.jp/company/ir/investors/dialogue.html>



株主さまとのコミュニケーション

2023年7月19日、品川グランドセントラルタワーにて、第4回「株主さま向け会社説明会」を開催しました。当イベントは株主の皆さまに当社へのご理解を深めていただくことを目的としており、コロナ禍の影響により3年ぶりの実施となりました。本説明会では、2022年度決算概況、長期ビジョンの見直しならびに新中期経営計画についてご説明した後、会場をサンゲツ品川ショールームに移し、ショールーム見学会を行いました。

当社は引き続き、経営の透明性と健全性の向上を目指し、株主の皆さまとの対話の充実に努めていきます。



商品紹介

新ブランド「MORRIS CHRONICLES」誕生

2023年7月、当社はイギリスを代表する老舗インテリアメーカーSanderson Design Groupと共同開発したライセンスブランド、「MORRIS CHRONICLES (モリスクロニクルズ)」を発売しました。

同ブランドでは、時代を超えて愛されてきたウィリアム・モリスのデザイナーカンプに、現代の嗜好やライフスタイルとの調和を目指したデザインアレンジを施しました。壁紙・床材・ファブリック統一テーマでの商品開発は、Morrisのライセンス商品において世界初であり、インテリア内装材をトータルに扱い、空間創造を行うサンゲツならではのコラボレーション商品です。

「MORRIS CHRONICLES」については、下記特設サイトでご紹介しています。
<https://www.sangetsu.co.jp/newproduct/morrischronicles/>



©MORRIS CHRONICLES

ESGの取り組み

・ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョン(DE&I)の実現に向けて

当社では、ダイバーシティ基本方針に基づき、従業員一人ひとりの個性を多様性として活かし、個々の能力を最大限発揮することができる職場づくりに取り組んでいます。

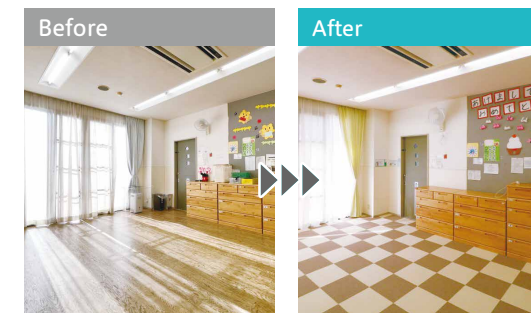
その取り組みの一環として、LGBTQ+に関するイベントに継続的に参加しているほか、2023年2月には国内グループ従業員を対象として、当事者の方による社内研修を行いました。私たちはこれからも、多様な観点からDE&Iの実現に向けた活動を進めていきます。



・コミュニティへの参画 児童養護施設のリフォーム支援

当社ならではの社会参画活動として、児童養護施設のリフォーム支援を全国で展開しています。児童養護施設は、予算の関係で快適な生活空間を整えることが難しい場合もあります。そのような状況下で過ごす子どもたちに、より良い住空間を提供するため、施設の方と打ち合わせを重ね、用途やイメージに合わせた壁紙やカーテンを使用したリフォームを実施しています。

2014年の活動開始以降、累計187件のリフォームを行い、取り組みの輪はグループ会社にも広がっています。子どもたちの喜ぶ姿を見ることは、空間における「インテリアの力」を実感する機会でもあり、私たちは今後も積極的な活動の実施に努めていきます。



「株主さまアンケート」ご協力をお願い

今後の株主さまとのコミュニケーション活動の参考とさせていただきますため、WEBアンケートもしくは同封のアンケートはがきへのご協力をよろしくお願いいたします。



WEBアンケート



©MORRIS CHRONICLES

【表紙画像紹介】

壁紙：MCW101

床材(ラグ)：MCG341S / 床材(フロアタイル)：MCT378

ドレープ：MCF286,MCF281 / シアー：MCF103

クッション：MCF289,MCF303

見本帳：「MORRIS CHRONICLES」収録

表紙画像は、モリスを代表するデザインの一つWillow Boughs(ウィロー パウ)を使用した施工例です。シンプルな柳の枝のモチーフは、モリスが娘のメイと、ケルムスコット・マナーの近くのテムズ川へと繋がる小さな川の岸辺を歩いていた、ある日の午後の情景をもとに描かれており、普遍的な美しさのあるデザインとなっています。

壁紙MCW101では、インクだまりやかすれの表情、マットな風合いなど細部にまでこだわり、白ベースの背景色でさわやかな緑の印象を引き立てました。

本誌内および下記特設サイトで
商品の詳細情報を紹介しています。
[https://www.sangetsu.co.jp/newproduct/
morrischronicles/](https://www.sangetsu.co.jp/newproduct/morrischronicles/)



株式事務についてのご案内

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

剰余金の配当の基準日 期末配当 3月31日
中間配当 9月30日

定時株主総会 6月

三菱UFJ信託銀行株式会社

【同連絡先】

東京都府中市日鋼町1-1

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

電話 0120-232-711 (通話料無料)

【同郵送先】

〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

公告掲載方法

公告掲載URL <https://www.sangetsu.co.jp/>
ただし、事故その他やむを得ない事由によって
電子公告による公告をすることができない場合には、
日本経済新聞に掲載いたします。

(ご注意)

- 1.株主さまの住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2.特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取扱いいたします。
- 3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株式会社サンゲツ

〒451-8575

愛知県名古屋市区西下1-4-1

www.sangetsu.co.jp

設立：1953年4月21日(創業：嘉永年間)

資本金：136億1,610万円

年商：1,760億円(2023年3月期連結)

従業員数：2,560名(2023年9月30日現在)

